

令和元年度生涯学習事業報告

令和2年度生涯学習事業計画



市民部 創造都市・文化振興課

中区・西区・北区・浜北区・天竜区 まちづくり推進課

東区・南区 区民生活課

令和元年度事業報告

【 中 】区

区 の 重 点	多様な出会いとふれあいがつくる人の和を生かし、豊かな地域社会の創造に取り組みます。
	○地域のコンテンツや課題を意識した「地域の学習の場」としての学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2)
	○地域住民や学校との協働により事業を進め、「地域コミュニティの拠点」として人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(3)
	○生涯学習推進のため、地域の学習リーダーが活躍する場を確保するとともに、ボランティアの活動を助長し、地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2-(2)

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○職員の日常点検等により故障、劣化箇所の早期発見に努め、照明器具、トイレ、空調設備など利用に支障があるものを優先的に、安全かつ快適に施設利用ができるよう施設修繕を行いました。 ○ユニバーサルデザイン化を推進するため、エレベーターや授乳室の新設、身障者専用駐車スペースのカーポート新設など、利用者の利便性の向上のため改修を行いました。(西部・北部協働センター)	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○浜松市公式ホームページ「中区協働センター通信」へPDFでの掲載や協働センターだよりの配布・回覧により、講座情報を広く発信して紹介しました。 ○協働センター主催講座年間予定表を掲示し、来館者に講座募集状況が分かるように見える化しました。(県居協働センター) ○「平成から令和へ」新たな時代を切り開くをテーマに、新たな知識や知恵を学びたい市民の学習ニーズに応えるため、県西部8大学9学部の協力を得て、第27回市民アカデミーを開催しました。(まちづくり推進課)	
		(3) 学習環境の向上	○地域ふれあい事業(こどもフェスタ、センターまつり、クリスマスコンサート等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みました。 ○近隣の小中学生の児童生徒にボランティアで学習支援を行っている活動団体と協働で、子どもたちの居場所作りや夏期講座などを実施し、学習環境が厳しい子を支援する活動を行いました。(曳馬協働センター) ○近隣小学校から協働センターを訪問する児童に対して、浜松出身の高柳健次郎先生によるテレビジョン研究や発祥の地記念碑について紹介し、この地でテレビが発明され世界に広まっていったことを伝承していくように努めました。(西部協働センター)	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○浜松学院大学長期企業内留学生を受け入れ、学生が得た知識や経験をもとにした講座やイベントを開催しました。(南部、北部、曳馬協働センター) ○協働センター職員が全国優良公民館表彰を受賞した沖縄県の若狭公民館での研修での学びを活かして、多くの子どもから高齢者までの幅広い世代と一緒に交流するイベント「あおぞら協働センター」を開催しました。(富塚協働センター)	○
		(2) 人材の育成	○協働センターのイベント事業などを通して小中学生ボランティアを募集し、ともに活動することにより地域コミュニティの活性化に努めました。また浜松市と大学との連携事業を活用し、大学生にもイベント事業に参画してもらうことで、若いリーダーやボランティアの養成を図りました。 ○夏休みの8月には学生ボランティア団体が積極的に関わる「東部チャイルドフェスタ」や地元中学生ボランティアが企画立案する「北部ジュニア公民館」を開催し、中学生ボランティアの育成を行いました。(東部、北部協働センター)	

◆ 成 果 ・ ◆ 課 題	◇協働センターまつりなどの地域ふれあい事業を中心に、地域各種団体や学生ボランティアの協力を取り込んだイベント等を実施することができた。
	◇地域の特性を理解し、最新のニーズやコンテンツを意識した講座・イベントを行うことができた。
	◆協働センターにおいて開催する講座は、新規の受講者(成年層や男性など)獲得を目的とした内容を企画するとともに、新たな情報発信や周知方法を検討する必要がある。
	◆地域活動団体を構成する利用者の高齢化による、協働センターの利用減少を防ぐため、地域活動団体の紹介や活動内容のPRを各種媒体を通して積極的に行う必要がある。

令和2年度事業計画

【 中 】区

区 の 重 点	地域と人とのつながりを生かした生涯学習の充実 ○ 地域の特性に応じて学習ニーズに応えられる、「地域の学習の場として」の学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 「地域の学習拠点」として、地域住民・学校の協力により事業を進め、人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(3) ○ 地域において生涯学習を推進していくために、人材を発掘し、育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2-(2)		
	浜松市生涯学習推進大綱		主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)
めざす都市像	基本方向	推進項目	区の重点
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備 ○協働センターを訪れた人が安全かつ快適に利用できる施設となるように、利用者の声を聞き取り、施設の維持管理と整備に努めます。 ○施設利用者、団体から修繕要望があった協働センターホール昇降ステージ、体育館床、ホール床の改修を行います。(西部・北部・県居協働センター)	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実 ○協働センターで実施する講座やイベントの情報を広く周知させるため、報道機関への情報提供や各種媒体を利用した広報活動を積極的に行います。 ○地域活動団体等の紹介等を掲載した地域の生涯学習推進の手引きとなるような冊子を作成し、各戸配付することで地区住民に対し、生涯学習等への関心を高め、地域活動団体数と会員数を増やし、生涯学習推進を図ります。(佐鳴台協働センター「地域力向上事業」) ○赤ちゃんマッサージや親子リトミック講座、託児サービス付き親子講座を開催し、子育て世代に施設が利用されるように努めます。(西部・南部協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上 ○地域の学習拠点として、地域の特性やコンテンツを理解し、地域のニーズに応じた講座を開催します。 ○「あおぞら協働センター」の運営を通じ、住民どうしの交流を深めるとともに、ワークショップ等を開催し創造性に富んだ幅広い教養を身につける機会を提供します。(富塚協働センター「地域力向上事業」) ○城北地区内にある調理菓子専門学校と協力し、学校の調理専用設備を活用させてもらいながら、専門の講師に学ぶクリスマスケーキづくりを実施します。(西部協働センター)	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実 ○協働センターまつりなどの地域ふれあい事業において、地域活動団体や学校が日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表、コンサート、団体活動の紹介を行います。 ○協働センターの継続的な試みとして、婚活イベントを開催し、地域の活性化を図ります。(東部協働センター)	
	学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(2) 人材の育成 ○中学生ボランティアを協働センターのイベント事業に主体的に参画させることで、将来の地域の担い手となる人材育成を図ります。 ○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対し、積極的に協力・支援をしていくことにより、新たな地域の学習リーダーの育成を進めます。 ○若者の地域へのより積極的な参加を目的に、地域内の中学生、高校生、大学生を対象とした若者ボランティア、通称「コミュニティアシスタント」を募集し、協働センターが主催するイベント等の企画・運営に関わってもらい、新たな人材の育成を進めます。(富塚・県居・東部協働センター)	○

令和元年度事業報告

【 東 】区

区 の 重 点	新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐくむ機会の提供と環境の整備に取組みます。 ○活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】 基本方向2-(2) ○地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取組みます。 【大綱との関連】 基本方向1-(1) ○住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。 【大綱との関連】 基本方向1-(3)			
	浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
	めざす 都市像	基本方向	推進項目	区重点
	「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松		基本方向 1	学ぶ環境づくり
(1) 施設の整備			○ユニバーサルデザイン化及び施設の長寿命化を図るため、エレベーター・授乳室新設、トイレの段差解消、協働センターと体育館の壁面塗装工事を行いました。(笠井協働センター) ○借地解消事業として、駐車場用地を買い取り、駐車場整備工事を行いました。(積志協働センター)	○
(2) 学習情報と学習機会の充実			○協働センターだよりによる活動団体紹介や活動の支援、様々な世代に向けた講座の開催などの取り組みにより、施設使用率の向上を図りました。 ○講師として動物園の職員を招き、動物園の仕事の説明や小動物とのふれあいを体験できる子ども講座を実施しました。(天竜協働センター)	
基本方向 2	学習成果を適切に生かすことのできる	(3) 学習環境の向上	仕組みづくり	
(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○人づくり、まちづくりの拠点としての機能を充実させるため、学習成果の発揮と住民交流の機会として、協働センターまつり等の地域ふれあい事業を開催しました。 ○ヒューマンセミナーとして、一般的に学習ニーズの高い歴史に関する講座を、文学に興味ある者が多い地域柄にあわせた内容で企画し、開催しました。(笠井協働センター) ○地域の中ノ町環境保全会が講師となり、天竜区内の団体と連携をすなわで、耕作放棄地で栽培した地元産の信州そば粉を使用した「そば打ち体験教室」を開催しました。(天竜協働センター)	○		
(2) 人材の育成	○協働センターまつりでは、展示や演技発表などで日頃の学習成果を発揮してもらうとともに、地域づくりの一助となるよう企画や準備から団体やボランティアの参加を呼び掛けました。 ○学習成果活用事業では、認知症高齢者への対応方法と身体に負担をかけない介護方法に関する講座の開催(長上協働センター)や、子どもから大人まで楽しめるフラワーアレンジメントやものづくりを行う「わいわい広場」(積志協働センター)を実施しました。 ○浜松市と大学との連携事業を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図りました。 ○学習成果事業の中で、将来、地域で活躍できる人材の育成を目的として、地域活動団体が講師となって中学生ボランティアを育成する「リーダーカレッジ」を開催しました。(蒲協働センター) ○中学生に協力を依頼して、11月に開催される協働センターまつりのボランティア参加の呼びかけや中学生のボランティアが中心となって、協働センター周辺の草刈及び体育館清掃を行う「清掃奉仕活動」を実施しました。(積志協働センター)	○		
◆成果 ◆課題	◇地域人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを多く企画し、地域に根差した充実した内容を多く提供することができた。 ◇中学生ボランティアの活用や大学生による講座に積極的に取り組み、将来的にボランティア候補や地域のリーダーを養成する若い力を生かした事業の充実や改善につなげることができた。 ◆地域活動団体の高齢化に伴う、世代間交流を視野に入れた新たな人材の発掘・育成。 ◆協働センター利用率向上のため、新たな受講者の獲得、及び、受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)のための、講座内容や周知方法の見直し。(女性の参加率が高い一方、一部参加者の固定化及び高齢化が顕著。特に、働き盛り世代の男性の参加は極めて低調である。)			

令和2年度事業計画

【 東 】区

区 の 重 点	新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐむ機会の提供と環境の整備に取り組みます。 ○活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】 基本方向2-(2) ○地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取り組みます。 【大綱との関連】 基本方向1-(1) ○住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。 【大綱との関連】 基本方向1-(3)				
	浜松市生涯学習推進大綱				
めざす都市像	基本方向	推進項目	主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	区の重点	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	○点検に基づく不具合の修繕のほか、利用者の要望を聞き取り、より使いやすい施設になるための計画的な改修を行います。 ○センターの利用状況により、 <u>60台分の駐車場がオーバーフローすることが頻発しているため、その対策として駐車スペースを確保するため、駐車場整備工事の設計を行います。(天竜協働センター)</u>	○	
	基本方向 2	学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○たよりによる活動団体紹介や活動の支援、様々な世代に向けた講座の開催などの取り組みにより、施設使用率の向上を図ります。 ○小学生を対象に、 <u>門松づくりを体験し、物作りの楽しさを知るとともに、日本の伝統に触れる機会を教える子ども講座を開講します。(笠井協働センター)</u>	○
			(3) 学習環境の向上	○人づくり、まちづくりの拠点としての機能を充実させるため、学習成果の発揮と住民交流の機会として、協働センターまつり等の地域ふれあい事業を開催します。 ○地域の楽団・積志ウィンドアンサンブルと小・中学生による「ふれあいコンサート」を開催し、子どもたちが音楽に触れる機会を提供します。(積志協働センター) ○地域の中ノ町環境保全会が講師となり、天竜区内の団体と連携をするなかで、耕作放棄地で栽培した地元産の信州そば粉を使用した「そば打ち体験教室」を開催します。(天竜協働センター)	
			(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、展示や演技発表などで日頃の学習成果を発揮してもらうとともに、地域づくりの一助となるよう企画や準備から団体やボランティアの参加を呼び掛けます。 ○託児サービス付きの講座を実施することで、若年層を含む幅広い年代の方がより一層受講しやすい環境を整えます。(長上協働センター)	
		(2) 人材の育成	○大学との連携事業を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図ります。 ○ <u>自治会を通じて地域の高等学校に協力を依頼し、イベント等へのボランティアの参加を呼び掛けます。(笠井協働センター)</u> ○学習成果事業の中で、将来、地域で活躍できる人材の育成を目的として、地域活動団体が講師となって中学生ボランティアを育成する「リーダーカレッジ」を開催します。(蒲協働センター)	○	

令和元年度事業報告

【 西 】区

区 の 重 点	地域の住民同士をつなげる生涯学習の充実 ○地域の多様な人々に応じた学習機会を充実させます。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○「地域の学習拠点」として、地域住民の協力により事業を進め、地域内・世代間の交流を推進します。 【大綱との関連】 基本方向1-(3)
----------------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	○ユニバーサルデザイン化及び施設の長寿命化を図るため、エレベーター新設、電気設備の改修等を行いました。	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○参加者に人気の講座を開催し、ニーズに沿った学習内容を提供しました。 ○比較的若い年齢層を対象とした講座を企画し、新たな受講者を発掘しました。(雄踏協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上	○地域住民と協力して地域ふれあい事業(センターまつり、夏祭り等)を実施しました。 ○夏祭りに向けて盆踊りを学べる子ども向けの講座を開催し、子どものころから地域と関わる機会を設けました。(入野協働センター)	○
		基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、地域活動団体等の作品展示、芸能発表、コンサート等を行い、学習成果を発表する機会を設けました。 ○地元の商店を講師に迎え、地域の人材が持つ知識を地元に戻元しました。(神久呂協働センター)
	学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(2) 人材の育成	○学習成果活用事業を実施し、講師として学習成果を発揮する機会を創出しました。 ○中学生を対象としたボランティア講座を開催し、将来に向けた人材を育成しました。(庄内協働センター)	

◆成果・課題

- ◆参加者の関心の高い講座を開催することができた。
- ◆地域ならではの講座を開催することができた。
- ◆講座参加者の固定化。
- ◆男性の講座参加者が少ない。

令和2年度事業計画

【 西 】区

区 の 重 点	地域の拠点となる協働センターを目指して			区 の 重 点
	<p>○地域の多様な人々のニーズに応じた企画を実施します。 【大綱との関連】基本方向1-(2)</p> <p>○地域の学習拠点として、より学習しやすい環境を整えます。【大綱との関連】基本方向1-(3)</p>			
浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区 の 重 点
めざす都市像	基本方向	推進項目	<p>○多くの施設で力を入れていく取り組み</p> <p>○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)</p>	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○日常の軽微な修繕のほか、経年劣化に対する計画的な改修工事を実施します。	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域の学習拠点としてニーズに応じた講座を提供します。 ○ <u>利用の少ない男性を主な対象とした講座を実施し、協働センターへ多様な住民を呼び込みます。(雄踏協働センター)</u>	○
		(3) 学習環境の向上	○地域ふれあい事業(センターまつり、夏祭り等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。 ○ <u>託児サービス付きの講座を実施し、学習しやすい環境を整えます。(篠原協働センター)</u>	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○生涯学習ボランティアを子ども講座の講師に迎え、知識を地域に還元します。(入野協働センター) ○協働センターまつりでは、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表、コンサート等を行います。	
	(2) 人材の育成	○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対して、積極的に協力・支援を行います。 ○ボランティア養成講座を実施し、地域の人材を育てます。(庄内協働センター)		

令和元年度事業報告

【南】区

<p>区の重点</p>	<p>市民協働によるまちづくりの推進</p> <p>○区民がいきいきと活躍する協働まちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)、2-(2)</p> <p>○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)</p> <p>○地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)</p>			
	<p>浜松市生涯学習推進大綱</p>		<p>主な取り組み</p> <p>○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)</p>	
	めざす都市像	基本方向	推進項目	区の重点
	<p>「楽しみ」や「生きがい」が見つかるとまち・浜松</p>	基本方向 1	<p>(1) 施設の整備</p> <p>○施設の長寿命化を図るため、屋上の防水改修工事(南陽・白脇協働センター)、施設照明設備のLED化(新津・白脇協働センター)、外壁補修工事(五島協働センター)等を行いました。</p> <p>○市民が安全・快適に利用できるように環境整備を行うとともに、不具合が発生した場合は迅速に緊急修繕を実施しました。</p>	
<p>いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり</p>		(2) 学習情報と学習機会の充実	<p>○協働センターだよりを各戸配布又は回覧するほか、子ども講座は、直接、児童にチラシを配布しました。</p> <p>○協働センターまつりや天文台事業など広域対象事業の情報を【南区公式Facebook「みなみる」】で発信しました。(全協働センター)</p> <p>○地域力向上事業として、「ヤーコンでご当地グルメを作ろう」(南陽協働センター)や「楽しく学ぶ防災」(可美協働センター)、「望遠鏡工作」(五島協働センター)を実施し、地域課題解決への取り組みや地域コミュニティの活性化を推進しました。</p>	○
		(3) 学習環境の向上	<p>○協働センターが主催する講座を契機として受講生が同好会をつくり、活動するよう働きかけました。</p> <p>○協働センターで活動する団体を支援するため、ロビー等に同好会の絵画、工芸品、写真等を展示し、活動のPRや参加者の意欲向上を図りました。</p> <p>○地域ふれあい事業(センターまつり、ふれあいコンサート等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みました。</p>	
		基本方向 2	<p>(1) 学習成果を発揮する機会の充実</p> <p>○協働センターまつりでは、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表等を行うとともに、団体の活性化とPRを図るため、団体の活動内容に関する住民参加型のイベントを実施しました。</p> <p>○浜松市と大学との連携事業を通して、大学で学んだ知識と技能を生かす機会の提供し、大学の専門性を地域に還元することを推進しました。</p> <p>○世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めました。(全協働センター)</p>	○
<p>仕組みづくり</p>		(2) 人材の育成	<p>○地域の人材を活用した講座を実施することや、学習成果活用事業を実施する市民や団体に対して、積極的に協力・支援することにより、地域リーダーや新たな人材の育成を推進しました。</p> <p>○協働センターまつりや成人式の運営等に小学生や中学生ボランティアを積極的に活用し、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成を図りました。</p> <p>○生涯学習ボランティアが子供向け工作の研修を受講し、協働センターまつりで「子ども工作教室」(新津協働センター)や「生涯学習体験教室」(可美協働センター)を実施しました。</p>	○
		成果・課題	<p>◇地域人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを多く企画し、地域に根差した内容を多く提供し、地域コミュニティの活性化を図ることができた。</p> <p>◇小・中学生ボランティアの活用や大学生による講座に積極的に取り組み、若い力を生かした事業の充実や世代間交流、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成につなげることができた。</p> <p>◆世代間交流や地域課題への取り組みによる地域コミュニティの更なる活性化。</p> <p>◆地域活動団体や講座受講生の高齢化に伴う、新たな人材の発掘・育成及び受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)のための、講座や周知方法の実施。</p>	

令和2年度事業計画

【南】区

区 の 重 点		市民協働によるまちづくりの推進 ○区民がいきいきと活躍する協働まちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)、2-(2) ○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1) ○地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)	
浜松市生涯学習推進大綱		主な計画	
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○市民が安全・快適に利用できるように体育館の床面改修工事(南陽協働センター)等の環境整備を行うとともに、不具合が発生した場合は迅速に対処する緊急修繕を実施します。
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働センターだよりを各戸配布又は回覧するほか、子ども講座は、地区内小学校の協力を得て、直接、児童にチラシを配布し、より多くの子どもが参加しやすいように取り組みます。 ○協働センターまつりや天文台事業など広域対象事業の情報を【南区公式Facebook「みなみる」】で発信します。(全協働センター)
		(3) 学習環境の向上	○地域カルタ作成・減災学習講座(新津協働センター)、田んぼアートのデザイン募集(白脇協働センター)等の地域力向上事業を実施し、地域課題解決への取り組みや地域コミュニティの活性化を推進します。 ○協働センターが主催する講座を契機として受講生が同好会をつくり、活動するよう働きかけます。 ○協働センターのロビー等に同好会の絵画、工芸品、写真等を展示し、協働センターで活動する団体のPRや参加者の意欲向上を図ります。 ○地域ふれあい事業(センターまつり、ふれあいコンサート等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、地域活動団体の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表を実施し、また、団体の活動内容に関する住民参加型のイベントを実施し、団体の活性化とPRを図ります。 ○浜松市と大学との連携事業を通して、大学生が協働センター事業に参画し、大学で学んだ知識と技能を生かす機会の提供と大学の専門性を地域に還元することを推進します。 ○世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めます。(全協働センター)
	仕組みづくり	(2) 人材の育成	○地域の人材を活用した講座を実施することや、学習成果活用事業を実施する市民や団体に対して、積極的に協力・支援することにより、地域リーダーや新たな人材の育成を推進します。 ○協働センターまつりや成人式の運営に小学生や中学生ボランティアを積極的に活用し、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成を図ります。 ○生涯学習ボランティアが子供向け工作の研修を受講し、協働センターまつりで「子ども工作教室」や「生涯学習体験教室」を実施します。

令和2年度事業計画

【 北 】区

区 の 重 点	地域性を活かした生涯学習機会の提供 ○地域の特性を生かしたバラエティに富んだ学習講座を設定し、生涯学習の充実を図る 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○子供育成講座・事業への地域住民の参画を促して、地域教育力の向上を図る 【大綱との関連】基本方向1-(3) ○世代間の交流を促進し、住民の連帯感・地域コミュニティ意識の向上を図る 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
	浜松市生涯学習推進大綱		主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
めざす 都市像	基本方向	推進項目	区の重点	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○職員による日常点検や業者による定期点検により不具合箇所を早期に把握し、利用者の安心・安全利用に努めます。 ○老朽化した施設の長期的な修繕計画的を検討し、これからの高齢化社会にも対応した環境整備を計画していきます。 ○高齢者や障がい者にも対応したUD工事(手すり、段差解消、エレベーターの設置など)の計画を進めていきます。(引佐多目的研修センター)	○
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○新しい生活様式に沿った講座の在り方を考え、学習機会の減少を防ぐための創意工夫を地域活動団体と一緒に考えながら進めていきます。 ○託児サービスを設けた講座を増やしていきます。(細江・引佐・三ヶ日・都田協働センター) ○講座の案内方法について、ホームページやSNSを活用すると共に、地域の企業にもリーフレットなどの配架などの協力要請を行います。	○
	だれでも	(3) 学習環境の向上	○北区で統一した新型コロナウイルス感染症対策指針の整備を行った上で、接触機会を減らしながらも学習意欲のある方の参加意欲や参加機会を失うことの無いよう、小規模分散型の講座を企画していきます。 ○地域資源を活かしたまちづくりのため、自然豊かな北区的环境を活用し、故郷の良さを理解するため、子どもたちをターゲットとした体験型講座を提供します。(細江協働センター)	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりや地域ふれあい事業を活用した活動団体の発表の場を設けます。 ○地元の大学生が協働センターなどの事業に参画する機会を設け、若い力で地域を活性化できるような環境づくりを推進します。(三ヶ日・引佐・都田協働センター)	○
学習成果を適切に生かすことのできる	(2) 人材の育成	○生涯学習講座等で得た知識や技術をもとに、自らが講師となってさらに地域の皆さんに伝えていけるような人材育成を支援します。 ○協働センターまつりなどの運営等へ参加者を募り、地域リーダー及びボランティア候補者の養成を推進します。 ○地元中学生を中心としたボランティアを募集し、地域文化に触れる機会の増大と世代間交流を図り、将来の地域リーダーの養成を推進します。	○	

令和元年度事業報告

【浜北】区

区 の 重 点	夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進 ○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
	浜松市生涯学習推進大綱			
めざす 都市像	基本方向	推進項目	主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	区の重点
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めました。	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○区内全協働センターより「協働センターだより合併号」を発行し、高齢者を対象とした生きがい教室、多くの市民から需要のある市民スクール(初級講座)等の学習情報を区内全域に提供しました。 ○各地区の小学校の協力により対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子どもが子ども講座に参加できる機会の提供を図りました。 ○市民に関心の高い講座を開催し、協働センターまつりの事業内容を充実させ、新たな利用者の拡大をしました。	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習及びコミュニティの拠点として、協働センターまつりやふれあい事業に取り組みました。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように同好会等の結成を支援しました。	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○「浜松市と大学との連携事業」に参加し、大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めました。 ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を発揮する場の提供と併せて人材の発掘を図りました。 ○学習成果の発表や展示をする機会として協働センターまつりを開催しました。	○
	(2) 人材の育成	○青少年指導者養成講座の修了者を協働センター事業におけるボランティアの核として積極的な活用を図りました。(まちづくり推進課生涯学習G・中瀬協働センター) ○区内の中学校へ生徒の協働センターまつり運営への参加協力を求め、ボランティア精神の醸成を図りました。 ○協働センターまつり運営に生涯学習ボランティアを活用しました。		
成果・課題	◇子供から高齢者まで様々な世代が参加できる各種講座を開催し、地域の教育力の向上や生涯学習の充実を図ることができた。 ◇協働センターまつりの開催により、地域住民や利用者間の交流を深めることができた。 ◆協働センターを利用する団体の活性化 ◆新たな利用者の掘り起こしをするため、講座や協働センターまつりの内容の充実			

令和2年度事業計画

【浜北】区

区 の 重 点	夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進			
	○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区重点
めざす 都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めます。	
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○区内全協働センターによる「 <u>協働センターだより合併号</u> 」を発行し、 <u>高齢者を対象とした生きがい教室(アクティブ・シニア講座)</u> 、 <u>多くの市民から需要のある市民スクール(初級講座)</u> 等の学習情報を <u>区内全域に提供</u> します。 ○各地区の小学校の協力により対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子どもが子ども講座に参加できる機会の提供を図ります。	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習及びコミュニティの拠点として、協働センターまつりやふれあい事業に取り組みます。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように同好会等の結成を支援します。	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○「 <u>浜松市と大学との連携事業</u> 」に参加し、 <u>大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めます。</u> ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を発揮する場の提供と併せて人材の発掘を図ります。 ○学習成果の発表や展示をする機会として協働センターまつりを開催します。	○
仕組みづくり	学習成果を適切に生かすことのできる	(2) 人材の育成	○青少年指導者養成講座の修了者を協働センター事業におけるボランティアの核として積極的な活用を図ります。(まちづくり推進課) ○区内の中学校へ生徒の協働センターまつり運営への参加協力を求め、ボランティア精神の醸成を図ります。(全協働センター) ○協働センターまつり運営に生涯学習ボランティアを活用します。(全協働センター)	

令和元年度事業報告

【 天竜 】区

区 の 重 点	地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。 ○ 年代に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)			
	浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
	めざす 都市像	基本方向 推進項目		区の重点
	基本方向 1			
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○安心して利用できるよう職員による施設の点検を行うとともに、設備保守や清掃業務も定期的に変更しました。 ○平成30年度に実施した設備や外壁の劣化調査の結果をもとに、受変電設備の更新工事(上阿多古ふれあいセンター)、外壁の修繕工事(竜川ふれあいセンター)を行いました。	
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働・ふれあいセンターだより等を地域に配布し、広報活動を行いました。 ○ <u>地域への愛着を育むため、子どもを対象に地域を題材にした講座を開催しました。</u> ○ <u>高齢者のニーズをとらえたアクティブ・シニア講座や幅広い世代が参加しやすいヒューマンセミナー・地域文化セミナーを開催しました。</u>	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の歴史に関する講座や世代間交流事業など、地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供しました。 ○地域住民の交流の輪を広げるため協働・ふれあいセンターまつりなどのふれあいフェスタ事業を開催しました。	
	基本方向 2			
	学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○ <u>市民団体等から企画提案された講座や講演、地域住民が講師を努める講座等を開催し、学習成果を発揮する機会を提供しました。</u> ○ <u>利用者団体等の学習成果発表の場として協働・ふれあいセンターまつり等を開催しました。</u>	○
		(2) 人材の育成	○未来の人材育成が図られるよう、子どもを対象にした講座を開催しました。	
◆成果	◇地域の少子高齢化が進む中、各実施施設において世代間交流の図られるような事業展開を工夫している。			
◆課題	◇地域の人材を活用した講座や、地域の題材・素材を活用した講座・物づくり教室を多く企画し、地域の特色を活かした内容を提供することができた。 ◆参加者の高齢化・固定化、地域内講師の高齢化・固定化、地域活動団体の高齢化・減少 ◆新たな受講者の獲得、受講者層の拡大。			

令和2年度事業計画

【 天竜 】区

区 の 重 点	地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。 ○ 年代に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向2-(1)				
	浜松市生涯学習推進大綱		主な計画 ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)		区の重点
「 楽 し み 」や「 生 き が い 」が 見 つ か る ま ち ・ 浜 松	基本方向 1	推進項目 (1) 施設の整備	○施設を訪れた方が安全かつ快適に利用できる施設となるよう利用者の声を聞き取り、施設の維持管理と整備に努めます。 ○平成30年度に実施した外壁の劣化調査の結果をもとに、外壁の修繕工事を行います。(水窪文化会館)		
	い つ で も 、 ど こ で も 、 だ れ で も	学 べ る 学 習 環 境 づ く り	(2) 学習情報と学習機会の充実	○子どもたちが興味を持ちやすい地域の自然や歴史を題材にした子ども講座を開催し、地域への愛着が育まれるよう努めます。 ○地域の特性を理解し、高齢者のニーズをとらえたアクティブ・シニア講座や幅広い世代が参加しやすいヒューマンセミナー・地域文化セミナーを開催します。 ○協働・ふれあいセンターだより等を地域に配布し、広報活動を行います。	○
			(3) 学習環境の向上	○地域の歴史に関する講座や世代間交流事業など、地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供します。 ○地域住民の交流の輪を広げるため、協働・ふれあいセンターまつりなどのふれあいフェスタ事業を地域活動団体や市民と協働で開催します。	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○地域住民が講師を努める講座等を開催し、地域の人材の活用を図るとともに、地域の人材が持つ知識を地元に継承していきます。 ○協働・ふれあいセンターまつりなどのふれあいフェスタ事業では、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表等を行います。また、地域住民の交流の輪を広げるよう、地域活動団体や市民と協働で開催します。 ○市民団体等から企画提案された講座や講演を実施することで学習成果を発揮する機会を提供します。	○	
仕 組 み づ く り	(2) 人材の育成	○将来の地域ボランティアの育成のため、協働・ふれあいセンターまつりなどで中学生ボランティアを募り、事業を実施します。(二俣協働センター、竜川ふれあいセンター) ○子どもを対象にした講座を開催し、未来の人材育成を図ります。			